

Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) 先天性代謝異常検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
22	6,731	101.2	6,568	144	1	18	320	283	25	8	4	9	7	2	-	
23	6,647	103.7	6,523	88	-	36	281	261	17	3	-	3	2	-	1	先天性副腎過形成症
24	6,429	101.5	6,262	129	2	36	324	273	39	12	-	14	11	2	1	ガラクトース血症
25	6,495	104.8	6,325	94	-	76	329	308	19	2	-	2	-	2	-	
26	6,358	104.9	6,180	129	2	47	400	350	37	12	1	15	15	-	-	

(1)-1 ガラクトース血症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
27	6,436	107.5	6,303	24	-	88	456	450	2	2	2	2	2	-	-	
28	6,093	104.7	5,939	25	-	119	455	413	1	4	4	4	2	2	-	

(1)-2 先天性副腎過形成症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
27	6,436	107.5	6,316	106	1	13	456	424	25	6	1	7	6	1	-	
28	6,093	104.7	5,985	102	1	5	455	420	29	6	-	7	4	3	-	

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

* H26年度より、国への実績報告様式が変更となっている。そのためH27より「先天性代謝異常検査」の内容を

「ガラクトース血症検査」及び「先天性副腎過形成症検査」に分割して算定している。

(2) クレチン症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
22	6,731	101.2	6,682	47	-	2	320	308	8	4	-	4	2	-	2
23	6,647	103.7	6,591	52	1	3	281	270	8	3	-	4	-	1	3
24	6,429	101.5	6,387	39	1	2	324	323	-	1	-	2	2	-	-
25	6,495	104.8	6,423	57	2	13	329	324	-	5	-	7	2	-	5
26	6,358	104.9	6,279	68	3	8	400	392	5	3	-	6	2	3	1
27	6,436	107.5	6,376	48	-	12	456	451	1	3	1	3	2	-	1
28	6,093	104.7	6,028	60	1	5	455	352	2	4	-	4	-	3	1

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(3) タンデムマス法検査

区分 年度	初 回 検 査							再 検 査						精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果				
			カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	カットオフ値内	再採血	要精密検査		判定保留	検体不良	検査数	正常	経過観察
25	2,122	-	1,036	5	-	1,081	-	47	45	2	-	-	-	-	-	-	-
26	6,421	105.9	6,336	34	3	48	-	386	377	5	4	-	-	7	1	5	1
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
28	6,091	104.7	5,905	76	-	107	3	453	403	42	5	3	-	5	2	3	-

2. 母子保健推進事業

(1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日	出席者数
評価運営委員会	母子保健の現状について やまなし健やか親子21(第2次)の推進について 子どもの喫煙等母子保健関係調査について 産前産後ケアセンター事業について 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について	10月17日	22
評価運営委員会	乳幼児歯科保健について 子どもの喫煙等母子保健関係調査について 中北保健所管内母子保健の取り組みについて 産前産後ケアセンター事業について 産婦健診について	3月22日	21
			43

(2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
中北	母子保健推進会議	・中北保健所管内の母子保健の現状と産前産後ケアの取り組み状況や統計について ・各市町と各医療機関の取り組み状況や課題の共有 ・意見交換	10月26日	31
	市町担当者会議	・各関係機関の取り組みの情報交換 ・意見交換	7月1日	12
峡北	母子保健推進会議	実績無し		
	市担当者会議	子育て世代包括支援センターについて 産後ケア事業について 新生児聴覚検査 その他 ・妊産婦健康診査事業 ・管内母子支援力向上研修 ・小慢学習会及び交流会 ・特定不妊治療助成	10月6日	7
峡東	母子保健推進会議	各市の乳幼児健診や支援体制の現状把握と課題について ・各種健診や園訪問での“発達の気になる子”の拾い上げ状況 ・健診から支援開始までの現状と課題 ・支援開始後の二次相談等のフォローの現状と課題	9月27日	14
	市担当者会議	1. シンポジウムの伝達 (テーマ「妊娠から子育てを地域で支える！～産後ケアを中心に～」) 2. H28年度母子保健事業に関する取り組みと課題について 3. 子育て世代包括支援センターについて 4. 母子保健統計の分析について 5. 情報交換等	9月27日	11
	市担当者会議	1. 山梨市の3歳児健診問診票改訂版について 2. 山梨市立産婦人科について 3. 情報提供・情報交換 ①助産師定例会の内容の情報提供 ②各市における未受診者、要支援児の追跡・対応に関する工夫について ③母子手帳の電子化や電子データによる保護者への母子保健情報の提供の予定について 4. 来年度の事業について	2月7日	12

峡 南	母子保健推進会議	・母子保健事業報告年報他峡南地域の母子保健に関する指標説明 ・意見交換	2月15日	21
	市町村担当者会議	・昨年度検討内容の振り返り ・会議要領および年間計画案の確認	5月20日	9
		・乳幼児健診(母子カード、問診票、アンケート等)について ※①②④について	7月25日	10
		・健診について(肥満児) ・各町の子どもに関する肥満への取り組みについて ※①②④について	9月5日	8
		・幼児期の療育支援について(保健師の関わり、体制) ・子育て世代包括支援センターについて ※①④について	11月21日	9
		・思春期体験学習の情報交換 ※①④について	1月23日	11
		・平成28年度のまとめ ・平成29年度の計画	3月6日	10
	※①峡南生涯健康づくりプロジェクトについて(リーフレットの活用について情報共有、母子分野の取り組み)②保健師のための事例支援相談 ③母子保健等の研修内容の伝達 ④その他時事について			
富 士・東 部	母子保健推進会議	実績無し		
	市町村担当者会議	【第1回】 ○昨年度までの取り組み状況について ・平成28年度第1回母子保健担当者会議の開催経過について ・妊娠期の関わりについての事前打ち合わせ結果について ○市町村と病院の連携について ・妊娠中からの市町村と病院の連携基準について ・市町村、病院の窓口の確認について	5月10日	21
		【第2回】 ○市町村と医療機関の連携について ・市町村と医療機関が妊娠期から連携が必要であると判断するための視点について ○小児救急医療センターからの情報提供	7月22日	16
		【第3回】 ○市町村と医療機関の連携について ・妊娠期から連携するべきハイリスク妊婦、ハイリスク産婦・新生児の把握方法について ・連携する方法について ○母子保健に関する情報交換について ・各市町村の予防接種の説明方法について	12月15日	18
			合 計	220

(3) 研修、事例検討会

保健所名	内容	出席者数
中 北	先進地見学 <和光市> ・和光市の取り組みについて ・産前産後ケアセンター わこう助産院の見学	11
	母子保健研修会 ・事例検討会についての講義と演習 ・情報収集やアセスメントの整理の仕方について	14
	母子保健研修会 ・事例検討会についての講義と演習 ・情報収集やアセスメントの整理の仕方について	16
	多職種による学習会の開催 ・周産期のメンタルヘルス	65
峡 北	①講義「生きにくさ・生活のしづらさを抱える子の親支援のポイントについて」 ②事例検討 事例提供者：北杜市保健師	24
峡 東	(1)山梨市3歳児健診問診票についての検討 (2)講義「幼児健診後のフォローのあり方について」	21
峡 南	母子保健研修会 ・講義「健やか親子21から見た母子保健の課題と健やか親子21(第2次)が目指すもの」 ・グループワーク	19
富 士・東 部	○産前産後ケアセンター利用者のアセスメント ○産前産後ケアセンター利用時の過ごし方 ○産前産後ケアセンター利用希望時の申し込み等手続きについて	18
	○講義「乳幼児期の口腔機能について」 ○グループワーク「乳幼児健診における栄養指導について」	8
合 計		196

(4) 母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し母子保健関係者等に閲覧、貸し出しをおこなう事業。
中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸し出しの 内 容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
23	35	58	1	14	19	24
24	35	35	4	4	29	-
25	31	31	2	4	26	-
26	33	33	2	8	27	-
27	25	25	-	1	24	-
28	14	14	-	2	12	-

3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

(1) 地域組織育成者等研修会

① 県実施

月日	内容	出席者数
	実績なし	

② 保健所実施

	内容	回数	出席者数
中 北	会長研修会	1	77
峡 北	班長研修会	2	75
峡 東	講演会、グループワーク	1	40
峡 南	活動発表会、グループ討議	1	51
富士・東部	ミニ講義	2	12

(2) 組織の状況

(平成28年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
中 北	4	29	433	5,712	85,397
峡北支所	3	48	241	1,704	46,541
峡 東	2	9	41	327	7,868
峡 南	5	13	118	433	7,463
富士・東部	8	10	36	362	16,112
計	22	109	869	8,538	163,381

(参考資料) 平成28年度版 全国市町村愛育班名簿

4. 長期療養児療育指導事業(平成28年度)

(1)療育等相談指導事業

①相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	21	11	11	19	51	9	13	4	1	-	18	13	1	1	-	173
延人数	30	14	18	34	65	12	14	6	1	-	22	17	1	1	-	235

②相談理由

	相談結果			
	指導済み	経過観察	他機関紹介	その他
家庭看護	146	62	-	-
食事・栄養	-	4	-	-
歯科保健	-	-	-	-
福祉制度の紹介	4	-	-	-
精神的支援	3	7	-	-
学校等との連携調整	4	7	-	-
その他	3	4	-	-
計	160	84	0	0
養育医療給付児(再掲)	-	-	-	-
育成医療給付児(再掲)	-	-	-	-
小児慢性特定疾患給付児(再掲)	160	84	-	-

(2)巡回相談事業

①個別相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	15	8	4	15	31	3	5	-	1	2	9	8	-	1	-	102
延人数	15	8	4	15	32	3	5	-	1	2	9	8	-	1	-	103

②集団相談

管内	相談者数	内容
大月市:8月23日、1月24日 富士河口湖町:4月7日、4月14日、4月15日、12月1日、2月16日、2月21日、2月23日	延べ23名	理学療法士市町村巡回相談【概要:保健所理学療法士が各市町村において関わりのある児やその保護者に対して介入し、保健師等が事業参加児に対して適切な助言、支援が行えるよう、評価・相談を行うとともに、参加児・保護者に対し日常生活を送る上での助言を行う】

(3)ピアカウンセリング

管内	回数	参加数(再掲)児	内容
峡北	1	9	4 慢性疾患をもつ子どもの保護者の交流会の一環で行った。 「病気を持つ子どもへの関わり～体験談を通して～」 講師:山梨県障害児者家族会ネットワーク 本澤智子さん、田崎輝美さん 講師からの話の後に、小児慢性特定疾患を持つ子どもの保護者の交流や体験の語りを行った。
富士・東部	1	8	3 【学習会・交流会】 (1)講話:[ブラダーウィリー症候群について～疾患の特徴と子どもへの接し方について～] 講師:山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏 (2)参加者同士の情報交換会 助言者:山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏 ※学習会、交流会のあと、保護者同士のピアカウンセリングを実施した。
計	2	17	7

(4) 交流会、学習会

管内	参加者数		(再掲)児	内容
	回数			
中北	1	3	-	「子どもの自立を支えるための親サポ ～思春期を上手にのりきるためのヒント～」をテーマに講義及びグループワークを行った。
峡北	4	33	11	○心疾患をもつ子どもの保護者の交流会 対象：心疾患を持つ子ども及び保護者 交流会を行い、お子さんの紹介や悩んでいること等自由に語る場であった。 ○病気をもつ子どもへの関わり方 対象：管内の小児慢性特定疾患をもつ子ども及び保護者 講師 山梨大学大学院総合研究部 教授 中込さと子先生 自己紹介から家族の悩みを通して、講師から「思春期の子どもたちの理解」「きょうだいへの関わり方」「発達段階に応じた入院の意味」について講義を頂いた。また、出席した子どもへの託児を依頼した。 ○「病気を持つ子どもへの関わり～体験談を通して～」 講師：山梨県障害児者家族会ネットワーク 本澤智子さん、田崎輝美さん 講師からの話の後に、小児慢性特定疾患を持つ子どもの保護者の交流や体験の語りを行った。また、出席した子どもへの託児を依頼した。 ○「保護者のつどい(心疾患)」 対象者：山梨県内の心疾患の児を持つ保護者 助言者：小児慢性特定疾患児童等自立支援員 有田 明美看護師
峡東	1	7	2	「保護者のつどい(心疾患)」 対象者：山梨県内の心疾患の児を持つ保護者 助言者：山梨大学大学院工学総合研究部中込さと子教授 小児慢性特定疾患児童等自立支援員 有田 明美看護師
富士・東部	1	8	3	【学習会・交流会】 (1) 講話：[プラダーウィリー症候群について～疾患の特徴と子どもへの接し方について～] 講師：山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏 (2)参加者同士の情報交換会 助言者：山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏
計	7	51	16	

(5) 支援関係機関(者)連絡会議

管内	参加者		処遇検討したケース数	内容
	回数	人数		
中北	5	39	5	近況状況の報告、共有 今後の支援体制の確認
峡北	3	27	3	関係機関で情報共有。医師より現在の子どもの状況について説明。今後の支援の方向性(学校生活や母の支援)について共有。
峡東	6	40	10	ケースの情報共有、支援方法の検討
峡南	2	10	2	今後の支援の方向性、関係機関での役割分担について検討。
富士・東部	4	17	4	退院前カンファレンス、今後の支援について
計	20	133	24	

(6) 発達等母子保健専門相談(遺伝相談)(平成28年度)

①各保健所での保健師による一次相談

	相談 実件数	相談		相談 延人数	相談来所 延人数	医師との 相談紹介 実件数
		来所相談	電話相談			
中北	1	-	1	1	-	1
峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1	1	3	1	-
峡南	1	1	-	1	1	-
富士・東部	1	1	-	1	1	1
計	5	3	2	6	3	2

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談	2	子どもの成長について 子どもへの対応の方法について専門家の助言がほしい。
イ 疾患に関する相談	2	先天性疾患について
ウ 出生前診断に関する相談	-	
エ その他	3	発達障害をもつ児の今後の生活について 日常生活について 近親婚について
計	7	

②医師による二次相談

相談申し込み保健所名	相談申込 件数	相談 実件数	相談 延件数	相談来所 延人数	相談終了 実件数	相談継続 実件数
中北	1	1	1	1	1	-
峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	2	2	2	2	-
合計	3	3	3	3	3	0

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談	-	
イ 疾患に関する相談	1	第1子の疾患は遺伝性があるのか。第2子を検討したいが遺伝は心配ないか。
ウ 出生前診断に関する相談	-	
エ その他	2	近親婚による遺伝性疾患発症リスクについて知りたい。 発達障害をもつ児の今後の生活について
計	3	

5. 女性健康相談事業

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	10	395	18	399
24	56	583	64	584
25	36	549	38	549
26	44	548	44	548
27	65	499	65	499
28	117	432	117	432

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行

6. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	71	22	170	64
24	90	34	236	97
25	93	29	281	88
26	93	27	293	95
27	88	24	289	69
28	87	26	276	81

平成16年4月開設

7. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
23	398	722	195	102,402,681
24	469	828	251	118,200,071
25	497	871	239	115,072,259
26	586	1010	314	134,725,129
27	588	989	280	139,716,573
28	542	874	304	155,583,351

- ・平成19年度:1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成21年度:1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成23年度:1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成
- ・平成25年度:C(以前凍結した胚を用いた移植及びF(受精に用いられる卵が得られなかった)場合の助成額が7万5千円に変更
- ・平成26年度:平成25年度までの申請者及び平成26年度も新規に申請した40歳以上の方に関しては従前の通り。平成26年度に新規申請した、治療開始時点で39歳以下の方は年間回数制限なしの計6回を限度に助成
- ・平成27年度1月:男性不妊治療に対して上乗せ助成。初回申請時の助成上限額の拡充
- ・平成28年度:妻の治療開始時点の年齢が、39歳以下の場合6回、40歳から42歳の場合3回を上限に助成。43歳以上は助成対象外。

8. 小児医療給付

(1) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	24	25	26	27	28					
					総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
～ 1,000g	22	20	25	17	20	8	4	0	2	6
1,001g ～ 1,500g	37	28	29	17	25	14	3	4	0	4
1,501g ～ 1,800g	28	26	30	26	23	10	6	3	0	4
1,801g ～ 2,000g	39	28	40	35	35	15	12	3	1	4
2,001g ～ 2,300g	2	1	5	8	6	2	0	1	0	3
2,301g ～ 2,500g	1	0	3	0	1	0	0	0	0	1
2,501g ～	2	0	5	7	2	0	0	0	0	2
合 計	131	103	137	110	112	49	25	11	3	24

(2) 小児慢性特定疾病医療費支給認定事業給付状況

区分 \ 年度	23	24	25	26	27	28
悪生新生物	79	75	120	67	79	78
慢性腎疾患	64	68	87	66	65	56
慢性呼吸器疾患	42	37	47	33	36	33
慢性心疾患	37	40	57	45	56	54
内分泌疾患	280	261	259	221	199	170
膠原病	27	26	35	24	26	30
糖尿病	46	47	54	52	42	38
先天性代謝異常	30	26	28	21	7	8
血友病等血液疾患	23	17	20	17	13	13
免疫疾患					5	5
神経・筋疾患	29	31	50	38	52	44
慢性消化器疾患	32	29	41	31	42	47
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群					2	4
皮膚疾患					3	2
合 計	689	657	798	615	627	582

※平成27年度から、免疫疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患が内訳に追加。

(3) 育成医療給付状況

区分		年度			28					
		25	26	27	総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
肢体不自由	入院	16	8	13	16	3	4	5	0	4
	通院	18	9	28	10	1	2	3	0	4
視覚障害	入院	9	5	3	2	0	1	1	0	0
	通院	11	2	4	0	0	0	0	0	0
聴覚・平衡機能障害	入院	2	3	8	1	0	0	0	0	1
	通院	1	3	6	1	0	0	0	0	1
音声・言語機能障害	入院	24	24	45	41	33	2	4	0	2
	通院	116	277	204	105	40	24	28	3	10
心臓障害	入院	47	44	39	34	8	8	9	3	6
	通院	2	2	5	1	1	0	0	0	0
腎臓障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	2	10	3	1	1	0	0	0	0
小腸障害	入院	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	通院	0	1	2	0	0	0	0	0	0
肝臓障害	入院	1	1	4	0	0	0	0	0	0
	通院	1	2	11	0	0	0	0	0	0
その他の内臓障害	入院	15	10	9	5	4	0	0	1	0
	通院	11	3	10	2	1	0	0	0	1
免疫機能障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		276	405	395	219	92	41	50	7	29

* 平成22年度から肝臓障害が追加

9. 未熟児養育医療指定医療機関・搬送用保育器等設置状況

保健所	未熟児養育医療指定医療機関	搬送用保育器設置機関	年度					
			23	24	25	26	27	28
中北	国立甲府病院、県立中央病院、甲府共立病院、市立甲府病院、山梨大学医学部付属病院	国立甲府病院 (甲府市医師会)	26	0	1	2	0	0
		県立中央病院 (甲府市医師会)	69	49	72	69	99	95
		田辺産婦人科医院 (中巨摩医師会)	1	0	0	0	0	0
峡北		韭崎助産院 (北巨摩医師会)	0	0	0	0	0	0
峡東		中村産婦人科医院 (東山梨医師会)	0	0	0	0	0	0
		長坂クリニック (笛吹市医師会)	0	3	4	5	7	4
峡南	※H12年度より設置中止		-	-	-	-	-	-
富士・東部	富士吉田市立病院、山梨赤十字病院	山梨赤十字病院 (富士吉田医師会)	5	8	8	7	2	7
		都留市立病院 (都留市医師会)	0	0	0	1	0	0
計	7施設	8施設	101	60	85	84	108	106